

令和5年11月7日

和歌山県教育委員会教育長

宮崎 泉 様

和歌山県立新宮高等学校 校長 深野 泰宏

和歌山県立新翔高等学校 校長 宮井 貴浩

新宮高等学校・新翔高等学校再編整備案の実現に向けて（要望）

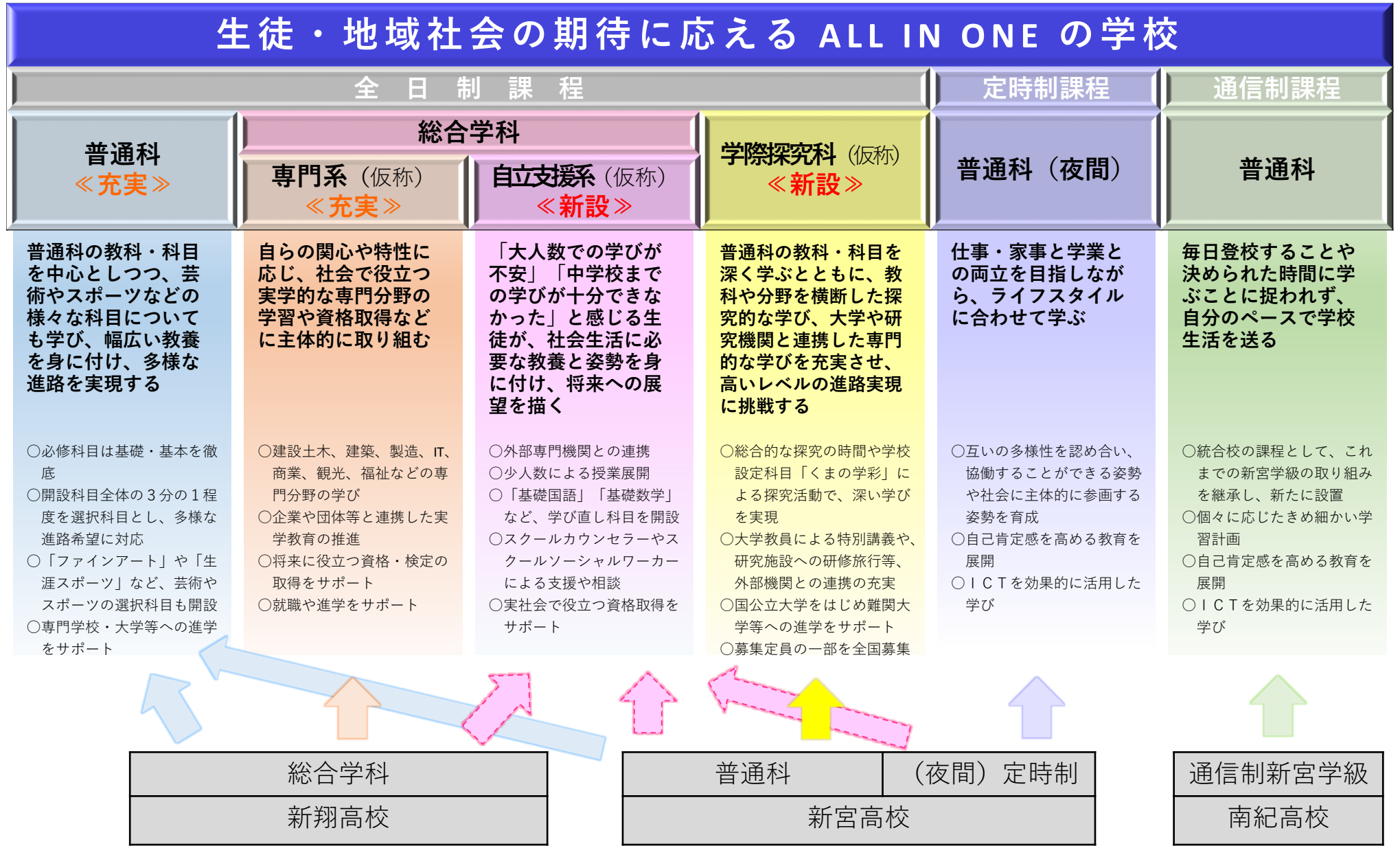
令和4年3月に策定された「県立高等学校教育の充実と再編整備に係る原則と指針」を受けて、新宮高等学校・新翔高等学校両校では、これからの地域の高等学校教育の在り方について協議を始めました。学校関係者や地域の方々と協議をする中でいただいた意見等を整理して、「一人一人のやる気と可能性に応える高校教育」として令和4年5月に発表し、意見募集を行いました。

令和4年12月には、いただいた意見等を踏まえ、「生徒・地域社会の期待に応えるALL IN ONEの学校」をめざした構想案としてまとめ、両校のホームページに掲載するとともに、令和5年2月には説明会を開催するなど、広く地域の方々の意見等を聴取しました。

さらに、それらの意見等をもとに、両校の教職員、学校運営協議会等においても議論を重ね、並行して県教育委員会とも共有し、令和5年9月に再編整備の具体的な構想案をまとめました。また、この構想案についても意見募集を行ってまいりました。

今般、新宮高等学校・新翔高等学校両校のこれまでの歴史や伝統、取組を継承・発展し、新たな時代の学びの創造をめざして、別添のとおり「新宮高等学校・新翔高等学校再編整備案」を構想しました。

和歌山県教育委員会におかれましては、これまでの経緯を踏まえ、実現していただきますようお願いいたします。



学校全体の取組の特色化と部活動・地域活動の活性化

	特色化・活性化の内容
教育活動	➤ 進路希望の変更等に対応するため、課程・学科間の柔軟な移動や、学校外の学修（大学等の公開講座やボランティア活動）等の単位認定を促進 ➤ 多様な教育ニーズに対応し、複数の学科等を効果的に活用するため、課程や学科の枠を超えた選択科目を2年生以降で設定 ➤ 学科の特性に応じて外部講師とともにICTを活用し、より専門的で実務に即した学びを実現
部活動	➤ 学校規模を生かして、団体競技における単独チームづくりなど、部活動の強化に取り組むとともに、「eスポーツ」等、生徒のニーズに基づいた新たな部活動を展開 ➤ 中学校の部活動や地域のスポーツ少年団等との連携を深め、地域で一貫した指導体制を構築し、様々な競技で全国大会出場を実現 ➤ 強化種目を設定し、特色化選抜（スポーツ）の導入 ➤ 両校舎の施設・設備を最大限に活用した部活動を展開
地域との連携	➤ 地域の祭りなど、地域行事に積極的に参画する活動を充実させ、地域の伝統行事の継続・発展に寄与 ➤ 地域交流や生涯学習の場を常設し、世代を超えた学びの場を整備
校舎の活用	➤ 「ALL IN ONEの学校」として、入学式や卒業式は一つの校舎で行うとともに、学校行事等も一体感をもって企画運営 ➤ 神倉校舎（現新宮高校）では、国社数理英の5教科や芸術・体育など、教養科目を開設 ➤ 佐野校舎（現新翔高校）では、建設土木やITビジネス、福祉など、専門科目を開設 ➤ 新設する総合学科自立支援系では、大人数での学びに不安をもつ生徒に対する落ち着いた学習環境の整備や、みくまの支援学校・福祉会等の関係機関との連携などを見据えて学びの場を設定 ➤ 定時制課程及び通信制課程は、「きのくに学びの教室」等と連携できる校舎等で展開 ➤ 神倉・佐野両校舎間にシャトルバスを運行し、両校舎の施設・設備を授業や部活動で効果的に活用
その他	➤ 統合校の校名、校歌、校章、制服については、今後、両校で関係者を交えて協議を実施 ➤ 既存の寮の活用や学校環境の整備